

出口部ケア

出口部ケアとは

カテーテルやカテーテル出口部とその周囲、皮下トンネル部を観察し、感染予防のためにカテーテル出口部周辺の洗浄することです。

毎日 一日一回欠かさず手入れしましょう

いつ行うかの決まりはありませんが、シャワー浴や入浴をするときがおすすめです。シャワー浴や入浴ができない時も、あとで説明するような方法で、毎日行うようにしましょう。また、運動の後や汗をたくさんかいたときにも出口部ケアを行いましょう。

※当院では、出口部を消毒しないで、石鹸で洗い流します。

なぜ？

傷を消毒しても実際には感染を予防する効果はなく、カテーテルが擦れて皮膚に傷が出来た時、逆に傷口の細胞に害を与え傷の治りを妨げてしまいます。むしろ石鹸で洗い流した方が、清潔が保てるからです。

出口部ケアの実際

出口部ケアの前に…

① 清潔な部屋（もしくは浴室）で行います。

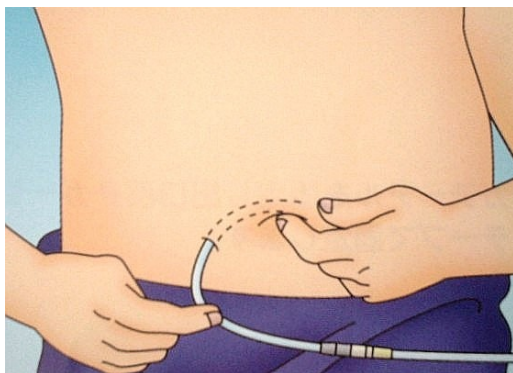
② 手をきれいに洗います。

③ 必要物品をそろえます。

（ガーゼもしくは清潔なタオル、液体石鹸、固定用テープ、
当てガーゼなど）

まずは観察から…

カテーテルの観察



カテーテルが入っている皮下のカフの部分を図のように上から指で触れてみます。

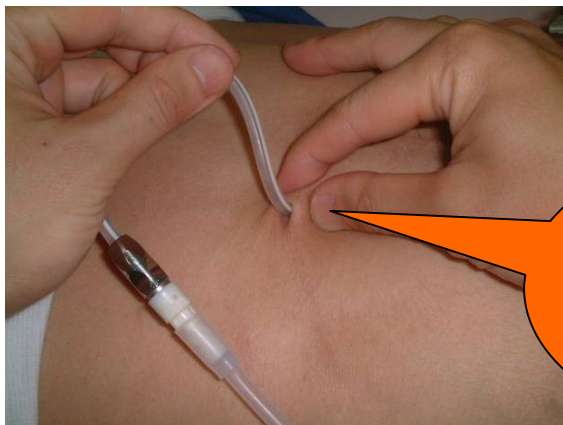
カフが一定の位置にあるか、赤くなったり、腫れた痛みがないかを調べます。

出口部の観察

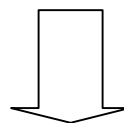


出口部・トンネル部に炎症がないか
確かめます。

- ① 出口部が赤くなっていませんか？
- ② 熱感はありませんか？
- ③ じくじくとしていませんか？
- ④ うみがでていませんか？
- ⑤ 出口部周囲・トンネル部を指で触
った時痛くありませんか？
- ⑥ テープを貼っていた皮膚が、かぶ
れていませんか？



カテーテルを少し持ち上
げて、カテーテルの裏の
周りもよく観察しましょ
う。

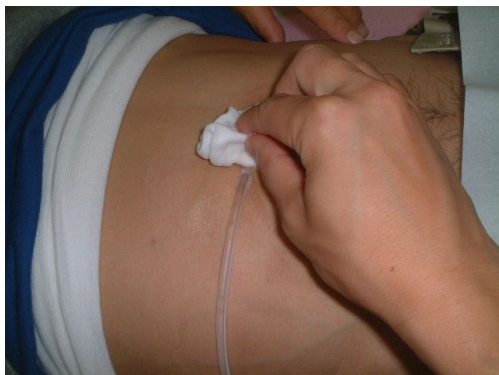


※異常を発見したら、医師・看護師へご相談下さい。

洗 浄



きれいなぬれガーゼ（タオル）に
液体石鹸を少量たらしてよく泡だ
てます。



泡立てたガーゼ（タオル）でおなか
のまわりを軽く洗います。



カテーテルも引っ張らないように
洗います。



よく泡立てましょう

拭き取り

次は、ぬれたきれいなガーゼ（タオル）で
石鹼分を拭き取ります。
入浴中であれば、シャワーで直接洗い流し
てください。



カテーテルの下も拭きましょう。



カテーテルも拭きましょう。

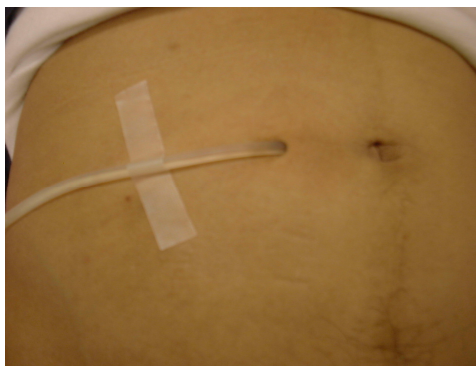
※ガーゼ（タオル）を変えて二度同じように拭き取ります。



最後に乾いたきれいな
ガーゼ（タオル）で水分
を拭き取ります。

カテーテルの固定

最後に、カテーテルの固定方法です。



①図のようにテープで固定します。テープの位置は、テープかぶれをふせぐため、毎回少しずつずらして貼るようにしましょう。

②テープかぶれがある時はテープを貼ることはやめてください。
次に説明する腹帯のみで固定します。



カテーテルを引っ張ったりすると出口部感染を起こす原因となります。
体の動きを考え、ゆとりをもたせてテープなどで固定しましょう。

★ いずれの場合もカテーテルが、動かないように固定する事が大切です。

腹帯の固定方法



腹帯に小さな穴を開けておきます。穴は、出口部から少しずらした位置にします。

腹帯の穴を通してカテーテルを出します。カテーテルを折り曲げないように自然にまるく束ねます。

腹帯でカテーテルを包み込み動かないように固定します。

入浴方法

カテーテル作成の手術後しばらくして、出口部が完成すると、入浴ができます。医師の許可が出てから入浴しましょう。

★入浴で立ったり座ったりする時、カテーテルがぶらぶらしないようにすることが大切です。

入浴方法

カテーテルを引っ張らないようにしながら、出口部も普通にやさしく洗って下さい。許可ができれば、入浴用カバーをしなくても良いです。

風呂上りには、シャワーで出口部を十分にすすいで下さい。

家で入浴する時は浴槽をよく洗って、一番風呂に入りましょう。

温泉や大衆浴場への入浴は、医師の許可が出てからにしてください。

【入浴時のカテーテルの固定方法】

① 腰ひもを使用する

腰に綿ひもなどを巻いておきます。この腰ひもに CAPD カテーテルをらせん状に巻きつけて入浴します。

② 入浴用カバーを使用する。

お風呂から出る時は、カバーをはずして同じ様に洗い、シャワーでながして下さい。

出口部感染をおこした時

★出口部感染(出血・うみがでる・ジクジクする・赤くなって熱っぽいなど)

をおこした時はすぐに受診して下さい。

★ 受診時に膿の培養検査をします。

★ 洗浄方法・入浴方法は変わりありませんが、洗浄する回数を一日 2 回以上を増やして下さい。

★ 洗浄後に医師より処方された軟膏を出口部に塗布して下さい。

★軟膏や膿で下着がよごれる事があるので、ガーゼをあてておきます。



ガーゼでカテーテルを包み、
かぶれがなければテープを
貼ります。そのうえで、
腹帯で固定してください。

★医師より抗生剤の内服薬や点滴の指示が出ることもあります。



自分の出口部です。
大切にケアしましょう！